



- 1885年 11—1890年第三次英緬戦争（コンバウン朝滅亡）\*ビルマ＝緬甸/中国語読みで Mian dian
- 1886年 7・ビルマとチベットに関する条約（英清条約）、「イギリス領インド帝国ビルマ州」
- 1906年 仏教青年会（YMBA）結成/ヤンゴン（ラングーン）
- 1920年 10・仏教青年会の分裂—ビルマ人団体総評議会（GCBA）結成

(1921年7・23 中国共産党結成)

1922年 第1回立法参事会選挙

1923年 イギリス「両頭制」施行

(1925年12・25 インド共産党結成/M・N・ローイ/1964年11・7 インド共産党マルクス主義派一分派  
1969年4・インド共産党マルクス・レーニン主義派(ナクサライト)一分派、  
1974年7・28 インド共産党マルクス・レーニン主義派解放派一分派)

(1928年 南洋共産党(SSCP)結成/シンガポール)

(1930年2・3 ベトナム共産党結成/1930年10・インドシナ共産党/  
1945年ベトナム独立同盟会/1952年2・ベトナム労働党/1976年ベトナム共産党)

(1930年4・シャム共産党/1942年12・1 タイ共産党/1952年タイ国共産党)

(1930年5・マラヤ共産党(MCP)結成/南洋共産党の改組)



Thakhin Ba Thaug

Saya San

Ba Maw

Aung San

1930年5・26 ビルマ人とインド人衝突事件(250名インド人犠牲者、戒厳令発令)

5・タキン党/Thakin party(我らのビルマ協会DAA/タキン・バタウン, タキン・テインマウン)結成  
\*タキンは「マスター」のビルマ語です。英国人ではなくビルマの「真のマスター」であることを象徴するために、名前の前にタキンを置きました。

1930年-32年 サヤー・サンの乱(Saya San Rebellion/下ビルマ農民大反乱)

1931年ラングーン大学学生自治会(RUSU)結成

(1935年7・25-8・20 コミンテルン第7回大会)

1935年4・「ビルマ統治法」公布/「イギリス領ビルマ省」

1935年 貧民党(Poor Man's Party / Sinyetha, or Proletarian/バー・モウ Ba Maw)結成

1936年11・26 下院議員選挙-バー・モウ(貧民党)政府成立

1936年5・8 全ビルマ学生連盟(ABSU)結成

1937年7・「ビルマ統治法」施行/立法参事会上下二院制設置「イギリス領ビルマ省」(首相バー・モウ)

1937年 タキン党/党憲章「コウミン・コウチン思想」/社会主義国家ブルマの独立/制定

1938年4・アウンサン Aung San /ラングーン大学学生自治会(RUSU)・全ビルマ学生連盟(ABSU)委員長

1938年7・ビルマ人仏教徒とインド人回教徒の衝突

1938年8・タキン党一分裂(本部派/タキン・コードオフマインVSタキン・パセイン派)

1938年10・アウンサン、ウー・ヌ/タキン党入党(アウンサン、本部派書記長)

1938年10-39年2・「(ビルマ暦)1300年革命 Htaung thoun ya byei ayeidawbon」(油田労働者のゼネスト)



Thakin Aung San

Thakin Than Tun

Thakin Soe

Thakin Zin

Thakin Ba Hein

Thein Pe Myint

Yebaw Htay



1939年8・15 ビルマ共産党（CPB）結成/  
 （議長：タキン・タントウン/Thakin Than Tun、事務総長：タキン・アウンサン/Thakin Aung San、  
 タキン・ソー/Thakin Soe、タキン・ジン/Thakin Zin、タキン・バ・ハイン/Thakin Ba Hein、  
 Thein Pe Myint、Yèbaw Htay 全7名）

1939年9・1—45年9・2 第2次世界大戦

1939年9・自由ブロック（議長バー・モウ/タキン党・貧民党・全ビルマ学生会）結成

1940年1・30 全ビルマ労働組合連盟（ABTUC）結成/  
 1940年 イギリス「ビルマ防衛法」施行

1940年 人民革命党（PRP）結成（タキン・ミヤ、コウ・バヘイン、サヤー・チェ/タキン党の継承）

1941年2・1 日本軍「南機関」（南方企業調査会）設立（機関長/鈴木敬司大佐）

1941年2・14～アウンサン「30人の志士」、日本軍の軍事訓練を受ける

1941年12・ビルマ独立義勇軍（BIA）結成（アウンサン等200名）

1942年1・日本軍第15軍、英領ビルマに進撃（ビルマの戦い）

1942年3—6「ミャウンミヤ事件」（カレン=ビルマ紛争/カレン族とビルマ族の民族衝突）

1942年3・日本軍第15軍・ビルマ独立義勇軍（アウンサン）、ラングーン陥落

1942年7・日本軍第15軍・ビルマ独立義勇軍（アウンサン）、ビルマから英軍を駆逐

1942年8・中央行政政府（軍政）発足（長官バー・モウ）

1942年8・共産党再建（タキン・ソー、タキン・ティンミヤ、コウ・フラチー・・・）  
 （1942年12・1 タイ共産党（CPT）結成/シャム共産党の改称）

1943年8・1—1945年3・27「ビルマ国」（大東亜共栄圏）独立/  
 国家代表バー・モウ/国防相アウンサン/外相ウー・ヌ/独立義勇軍—ビルマ国軍（BNA）  
 （1943年11・大東亜会議開催（東京/バー・モウ出席）

1944年1・ビルマ共産党第1回大会（タキン・ソー、タキン・ティンミヤ、コウ・フラチー、  
 コウ・トウイン、コウ・トウンセイン、コウ・サンニョン6名）

1944年8・1 独立一周年記念集会（アウンサン「ビルマの独立はまやかし」発言）

1944年8・反ファシスト組織（AFO）結成  
 （ビルマ国軍/アウンサン、ビルマ共産党/タキン・ソー、人民革命党（PRP）/バー・スエ～三派合同）

1944年10・3「革命戦線」（共産党・人民革命党の統合）結成

1944年12・タキン・ソー（共産党）、人民革命党との統合破棄通告

1945年3・1—3 反ファシスト人民自由連盟（AFPFL/書記長タントウン）結成（反ファシスト組織改称）

1945年3・27 ビルマ国軍・AFPFL 武装蜂起、イギリス軍に合流

1945年3・27「ビルマ国」解体—「イギリス領」化

1945年5・イギリス「ビルマ白書」閣議決定

1945年6・1 全ビルマ労働組合連盟（ABTUC）再建/議長タキン・バ・ハイン（共産党）

1945年 ビルマ社会主義党結成（委員長ウー・コーコーデ/人民革命党の継承）

1945年7・1 ビルマ共産党中央委員会/人民革命との統合再確認

1945年7・20 ビルマ共産党第2回大会（議長タントウン、書記長ミヤトウイン/ヤンゴン）—分裂  
 タキン・タントウン、ティン・ペ・ミント/ブラウダ主義/（白旗）共産党/大衆運動路線

1945年11・労働組合会議（ビルマ/TUC（B））結成/社会主義者党系

1946年2・22—3・6 共産党中央委員会（タキン・ソー「ブラウダ主義」批判、  
 分派—（共産党（ビルマ）/赤旗共産党）結成/トロツキー主義/武装闘争路線）\*腕章の色/白・赤

1946年7・3 赤旗労働組合、赤旗栽培者組合禁止/赤旗共産党系

1946年7・10 赤旗共産党、非合法化

1946年7・AFPFL、タントウン書記長（（白旗）共産党）辞任

1946年9・ゼネスト開始

1946年10・10 AFPFL 執行部、白旗共産党（CPB）除名決定

1947年 カレン中央組織（KCO）—分裂/カレン民族同盟、カレン青年組織（KYO）

1947年1・23 赤旗共産党、再非合法化

1947年1・27「アウンサン・アトリー協定」

1947年2・「パンロン協定」（少数民族との合意）

1947年2・5 カレン民族同盟（KNU/バ・ウー・ジー）—カレン民族解放軍（KNLA）結成

1947年4・9 憲法制定総選挙（AFPFL/アウンサン173議席/共産党/タキン・タントウン7議席/

1947 年 7・19 アウンサン、ウー・ラザク暗殺— (AFPFL/ウー・ヌ U Nu)

1947 年 9・「ビルマ連邦憲法」(1947 年憲法)

(1947 年 9・コミンフォルム/共産党・労働者党情報局結成)



U Nu/Ne Win

1948 年 1・4 「ビルマ連邦」独立 (イギリス) /初代首相ウー・ヌ

1948 年 3・18 白旗共産党中央委員会「1948 年における革命の可能性」  
(ゴシヤル・テーゼ/ゴシヤル、イエー・ポー・テー/反毛沢東主義派) 決定  
/人民革命軍結成

1948 年 3・27 ウー・ヌ首相、共産党幹部逮捕命令

(1948 年 2・28—3・6 東南アジア青年会議/共催：世界民主青年連盟・  
国際学生連盟/AFPFL メンバー参加

/2・インド共産党第 2 回大会/反国民会議・武装闘争決定/白旗共産党メ

ンバー参加)

1948 年 3・28 白旗共産党、武装蜂起/ AFPFL 政府打倒

1948 年 ビルマ社会党 (ビルマ社会主義党の名称変更)

1949 年 1・カレン民族同盟 (KNU) 反政府武装闘争開始 (全土内戦)

1949 年 中国国民党軍残余部隊 (KMT/NRA)

シャン州侵入支配 (雲南省反共救国軍) /麻薬/黄金の三角地帯

1950 年 12・6 ビルマ労働者党 (BWPP) 結成

1951 年 6—52 年 1・第 1 回総選挙 (AFPFL 圧勝)

(1951 年 9・30 クメール人民革命党/1960 年カンボジア労働者党/

1966 年 9・カンボジア共産党 (クメール・ルージュ) /1979 年カンボジア人民党)

1952 年 7・3 共産党・赤旗共産党・人民同志党/三者統一会議

1953 年 10・ビルマ共産党 (CPB) 非合法化

(1955 年 4・16 日緬平和条約・日緬賠償・技術協力協定発効)

(1955 年 3・22 ラオス人民党/1972 年 2・3—6 ラオス人民革命党)

1955 年 11・ビルマ連邦民族統一戦線 (労働者党・農民党・愛国同盟・民主党) 結成 (12 組織)

1956 年 4・第 2 回総選挙 (AFPFL 多数/民族統一戦線 (NUF) 進出)

1957 年 カレニー民族進歩党・カレニー軍結成

1958 年 4・AFPFL 分裂—「清廉派」(ウー・ヌ) V S 「安定派」(反ウー・ヌ派)

1958 年 11・27—1960 年ネ・ウイン将軍 Ne Win 「暫定内閣」成立

1959 年 5・25 民族民主統一連合戦線結成 (共産党・カレン民族連合党・カレニー民族進歩党・)

1959 年 10・8—11・14 「暫定内閣」・民族民主統一連合戦線「和平交渉」決裂

1960 年 2・第 3 回総選挙/連邦党 (元「清廉派」ウー・ヌ圧勝)

1960 年 4・4 ウー・ヌ/ネ・ウイン連立内閣成立

1960 年 11・14—1961 年 2・9 中緬国境作戦

1961 年 カチン独立機構 (KIO) —カチン独立軍 (KIA) 設立

1962 年 3・2 ネ・ウイン将軍、軍事クーデター/革命評議会 (議長ネ・ウイン) 設立



1962 年 4・30 革命評議会「ビルマの社会主義への道」(綱領/冊子) 発表/



- 1962年7・4 ビルマ社会主義計画党 (BSPP 議長ネ・ウイン) 結成 (~1990年解党)
- 1962年3・2~1981・11・9 ネ・ウイン大統領
- 1962年 アラカン共産党 (CPA) 結成/赤旗共産党の分派
- 1963年6・11 革命評議会、武装反政府全組織に和平交渉呼びかけ
- 1964年3・社会主義計画党を除く全政党解散命令
- 1964年 シャン州軍 SSA(1961年結成シャン州独立軍+SNUF)結成
- 1964年9・9-10・14 共産党中央委員会「64年路線」/武装闘争決定  
(1966年5・16 中国文化大革命開始)
- 1966年8・16 共産党「紅衛兵」結成開始
- 1967年4・5 共産党「青少年特別会議」(13歳~18歳) 紅衛兵・文化大革命開始
- 1967年4・27 ビルマ共産党人民大会/タキン・タントウン派/紅衛兵による党内粛清開始/  
(反毛沢東主義派ゴシャル、イェー・ポー・テー、タキン・タンミヤイン等粛清)
- 1968年4・16 ミャンマー軍掃討攻撃で共産党軍最高司令官ボウ・ゼーヤ射殺
- 1968年 カレン民族同盟-カレン民族解放軍 (KNLA) 創設~武装闘争の開始
- 1968年9・24 ビルマ共産党タキン・タントウンら幹部射殺/共産党デルタ地方管区軍副小隊長チョンテ)  
(1969年-1987年 日本の有償資金供与(日本円借款)開始/66件4030億円)
- 1970年11・タキン・ソー(赤旗共産党)逮捕
- 1974年1・ビルマ連邦社会主義共和国憲法制定/「ビルマ連邦社会主義共和国」/国名変更
- 1974年3・21 国家評議会・閣僚評議会・人民議会の設置(革命評議会の解散)  
(1975年4・30 南ベトナムサイゴン陥落/ベトナム民主共和国)  
(1975年4・民主カンボジア/クメール・ルージュ創建)  
(1975年5-1989年9・カンボジア・ベトナム戦争)
- 1975年6・労働者、学生反政府ストライキ
- 1976年3・「タキン・コウドオラフマン生誕100年記念」学生運動高揚
- 1976年5・30 民族民主戦線(NDF)結成(11党派少数民族組織/書記長マン・パザン)  
(1976年11・第1回対ビルマ援助国会議(主催/世界銀行/東京)開催/米英仏独参加)
- 1978年11・ビルマ共産党政治局会議「政治報告」-カンボジ・ポルポト派支持  
(1979年 カンボジア民主共和国創建)  
(1983年10・9 ラングーン事件/韓国全斗煥大統領暗殺未遂事件)
- 1985年 モンタイ軍設立(シャン連合軍/クン・サ/麻薬王+シャン連合革命軍/モーヘン)
- 1988年1・ビルマ共産党党内闘争/ビルマ共産党崩壊
- 1988年3・12 ヤンゴン大学学生デモ、学生PhoneMaw射殺
- 1988年3・16 学生抗議集会(ヤンゴン大学/ミンコーナイン Min Ko Naing (Paw Oo Tun)
- 1988年7・8 全ビルマ学生連盟(ABFSU)「声明」  
「私たちは仲間の学生の釈放に左右されるべきではありません。私たちは戦い続けます。」
- 1988年8・8 ゼネストデモ/8888民主化運動/8888 Uprising
- 1988年8・26 アウンサンスーチー(帰国中)、シュエダゴン・パゴダ前集会10万人/「この運動は第二の独立闘争とすることができます。私たちは一民主主義の独立闘争に加わったのです」



Saw Maung Than Shwe Khin Nyunt Soe Win Thein Sein Htin Kyaw Min Aung Hlaing Aung San Suu Kyi

- 1988年8・セインルウイン大統領辞任、マウンマウン大統領就任
- 1988年9・18 ソ・マウン Saw Maung 国軍最高司令官、軍事クーデター/「ビルマ連邦」/国名変更



1988/8888 Uprising

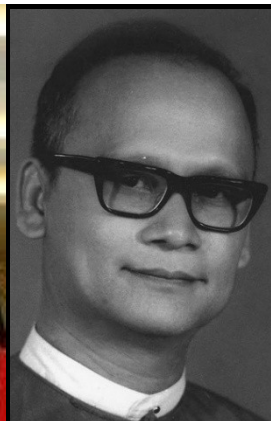
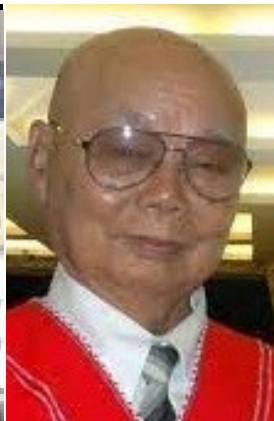
2007/Saffron Revolution

2021/Civil disobedience movement

- 1988年9・27 国民民主連盟 (NLD/書記長アウンサンスーチーAung San Suu Kyi) 結成
- 1988年9・ 国民統一党 (NUP) /ビルマ社会主義計画党+国家法秩序回復評議会
- 1988年11・1 全ビルマ学生民主戦線 (All Burma Students' Democratic Front/ABSDF) 結成
- 1988年11・18 ビルマ民主同盟 (DAB) 結成/  
カレン民族同盟、カチン独立機構、学生組織など反政府系 21 組織  
(1988年 NGO 日本ビルマ救援センター (大阪) /設立)
- 1989年4・17 連合ワ州軍 (United Wa State Army UWSA) 結成/ビルマ共産党の分派/共産党本部襲撃/麻薬栽培
- 1989年 ミャンマー民族民主同盟軍 (Myanmar National Democratic Alliance Army MNDA/ヤン・モウ・リャン /シャン州コーカン地区/共産党の分派) /麻薬/黄金の三角地帯
- 1989年 東シャン州軍 (Eastern Shan States Army ESSA 結成/共産党の分派) /麻薬/黄金の三角地帯
- 1989年 カチン新民主軍 (New Democratic Army –Kachin NDA-K 結成/共産党の分派) /麻薬/黄金の三角地帯
- 1989年6・18 「ミャンマー連邦」/国名変更
- 1989年7・アウンサンスーチー自宅軟禁①/—1995年5・)
- 1990年5・27 総選挙/NLD 圧勝
- 1990年 ビルマ連邦国民連合政府 (NCGUB/~2012年解散) 樹立/亡命政府・米国メリーランド州
- 1991年10・14 アウンサンスーチー「ノーベル平和賞」受賞
- 1991年 ミャンマー労働組合連盟 (FTUM) 結成 (タイ)
- 1992年1・パラウン州解放戦線 (PSLF) —パラウン州解放機構軍(PSLO/A)結成
- 1992年4・23 タン・シュエ Than Shwe 将軍、国家法秩序回復評議会 (SLORC) 議長兼首相に就任
- 1993年9・13 連邦団結発展協会 (USDA) 設立/国家法秩序回復協会の翼賛団体  
(1995年 国民民主連盟 (National League for Democracy NLD)・解放地区 Liberation District 日本支部結成)
- 1997年11・ 国家平和発展評議会 (SPDC) /国家法秩序回復評議会の名称変更
- 2000年9・アウンサンスーチー、再自宅軟禁②/—2002年5)  
(2000年12・ビルマ民主化同盟 (Burmese Democratization AllianceBDA) 日本支部結成  
(在日ビルマ人協会・ビルマ青年ボランティア協会等)
- (2002年4・在日ビルマ市民労働組合 (FWUBC) 会長ミンスイ Myint Swe/結成)
- 2002年12・5 ネ・ウィン死去
- (2003年 在日ビルマ連邦少数民族協議会 Association of United Nationalities in Japan /AUN-Japan 結成  
[加盟団体一覧 (登録順)] ※印は、脱退の意向を表明中の団体。
  1. カチン民族機構-日本 (Kachin National Organization-Japan: KNO-Japan) ※
  2. 在日チン民族協会 (Chin National Community (Japan): CNC-Japan) ※
  3. 在日カレン民族協会 (Karen National Community-Japan: KNC-Japan) <2010年結成/複数のカレン民族団体が合同。  
前身在日カレン民族連盟 (Karen National League (Japan): KNL-Japan) >
  4. 在日ナガ民族協会 (Naga National Society (Japan): NNS-Japan) ※
  5. 在日パラウン民族協会 (Palaung National Society (Japan): PNS-Japan)
  6. 在日プンニャガリ・モン民族協会 (Punniyagari Mon National Society (Japan): PMNS-Japan)
  7. アラカン民主連盟 (亡命・日本) (Arakan League for Democracy (Exile-Japan): ALD (Exile-Japan))
  8. 在日シャン民族民主主義会 (Shan Nationalities for Democracy (Japan): SND-Japan)
  9. パオ民族解放協会 (Pa-O Nationalities Liberation Society (Japan): PNL-S-Japan)
  - 10.カレンニー (カヤ) 民族協会 (Karenni (Kayah) National Society (Japan): KNS-Japan)
  - 11.在日シャン州民族民主連盟 (Shan State Nationalities for democracy (Japan): SSND-Japan)
  - 12.カレン民族同盟 (日本支部) (Karen National Union (Japan): KNU-Japan)
  - 13.カチン州国民民主議会党 (解放地区-日本支部)  
(Kachin State National Congress Party for Democracy (Liberated Area-Japan Branch): KNCD (LA-JB))
  - 14.海外カレン機構 (日本) (Overseas Karen Organization (Japan): OKO-Japan)
- 2003年5・30 「ディペーイン事件」(アウンサンスーチー、NLD メンバー襲撃事件)
- 5・30 アウンサンスーチー自宅軟禁③/—2011年11・13



- 8・30 キン・ニユン Khin Nyunt 首相就任「民主化へのロードマップ」発表
- 2004年 10・キン・ニユン自宅軟禁/ソー・ウィン Soe Win 首相就任
- 2005年 タウン民族解放軍 (TNLA/ター・アイク・ボング、ター・ボーン・キャウ) 結成  
/元パラウン州解放機構軍(PSLO/A)
- 2005年 88 世代学生会 (88th Generation Student Association) 結成
- 2006年 10・10 首都「ネーपीドー」に遷都 (元ヤンゴン/ランゲーン)
- 2007年 「心を開いて」キャンペーン開始 (88 世代学生会/ミンコー・ナイン、コ・コ・ジイー)  
8・19 燃料費大幅値上げ反対大規模デモ/サフラン革命/ Saffron Revolution  
9・10 万人デモ (ヤンゴン/僧侶、市民、学生)  
10・12 ソー・ウィン首相死去/テイン・セイン Thein Sein 首相就任
- 2008年 4・9 ミャンマー連邦共和国憲法 (新憲法) 成立  
5・10 国民投票実施
- 2009年 4・10 アラカン連合リーグ (ULA) —アラカン軍 (AA) 設立/アラカン州
- 2009年 ミャンマー労働組合連盟 (FTUM) 第1回大会
- 2010年 6・2 連邦団結発展党 (USDP) /連邦団結発展協会 (USDA) の政党化  
6・国民民主勢力 (NDF) 結成/NLD の分派/  
キン・マウン・スウェ、タン・ニェイン、テイン・ニウン、ウィン・ナイン) —11・7 総選挙参加  
11・7 総選挙 (2008 新憲法) /連邦団結発展党 388 議席 (493 議席中)、NLD ボイコット  
11・13 アウサンスチー自宅軟禁解除③ (—2003年 5・30/7年半)
- 2011年 3・30 テイン・セイン大統領就任/国家平和発展評議会 (SPDC) 解散  
(2011年 在日ミャンマー青年学生協会 (Myanmar Youth and Student Association, Japan/ MYSA) 結成)  
11・国民民主連盟 (NLD)、政党再登録



Atullah

Saw Mutu Say Poe

Maung Maung

Wirathu

- 2012年 3・アラカン・ロヒンギャ救世軍 (ARSA/最高司令官アタウッラー)  
3・日本ミャンマー協会設立 (会長/渡邊 秀央・機関誌「MYANMAR FOCUS」)  
4・1 補欠選挙/国民民主連盟 (NLD) 圧勝/国政進出  
12・21 カレン民族同盟第15回大会/議長ソー・ムトウセイポー Saw Mutu Say Poe
- 2013年 3・ミャンマー労働組合連盟 (FTUM) /ビルマ労働組合連盟 (FTUB) 組織名変更  
(書記長マウンマン Maung Maung)  
(2013年 6・一般社団法人 日本ミャンマー友好協会 (本部東京) 設立)  
(2013年 雑誌『TIME』7月1日号/表紙アシン・ウィラトゥ Wirathu「仏教徒テロの顔」/969 運動 969 Movement )  
(2014年 3・在日留学生&社会人組織  
(Myanmar Active Students & Businesspeople Organization -JAPAN MASBO) 結成)  
(2014年 4・日本ミャンマー学生会議結成  
/International Developmental Field Camp for Myanmar and Japan Youth Leaders (IDFC) )
- 2014年 11・29-30 ミャンマー労働組合連盟 (FIUM) 第2回大会/  
ミャンマー労働組合総連合 (CTUM) へ組織名変更 (会長マウンマン Maung Maung)
- 2015年 7・17 ミャンマー労働組合総連合 (CTUM) 合法化  
10・15 ミャンマー政府・少数民族8団体「停戦協定」  
カレン民族同盟 (KNU) /カイン国民解放軍 (KNLA) /パオ民族解放機構 (PNLO)  
ビルマ学生民主戦線 (ABSDF)/チン国民戦線 (CNF) /アラカン解放党 (ALP)

・民主カレン仏教徒軍 (DKBA) ・ シャン州和解評議会 (RCSS)

11・8 総選挙/国民民主連盟 135 議席 (224 議席中) 圧勝

2016 年 3・15 ティン・チョー Htin Kyaw 大統領就任 (アウンサンスーチー/NLD 国家顧問・大統領府大臣)

2017 年 8・25 アラカン・ロヒンギャ救世軍、ラカイン州のミャンマー警察、軍基地攻撃/

ミャンマー軍の掃討攻撃開始/ロヒンギャ大量虐殺、難民の発生

2018 年 2・13 ミャンマー政府・少数民族 2 団体「停戦協定」新モン州党 (MNSP)、ラフー族民主同盟 (LDU)

2019 年 12・11 アウンサンスーチー国家顧問、国際司法裁判所でロヒンギャ問題の虐殺の訴えは「不完全」証言

2020 年 11・8 総選挙/国民民主連盟 138 議席 (224 議席中) 圧勝



2021 年 2・1 軍事クーデター (ミン・アウン・フライン Min Aung Hlaing 国軍総司令官)

2・2 国家行政評議会設立

2・5 連邦議会代表委員会 (Committee Representing Pyidaungsu Hluttaw/ CRPH) 設立

2・・ 市民的不服従運動 (Civil disobedience movement/CDM) 開始

3・31 連邦民主憲章公表 (Federal Democracy Charter 連邦議会代表委員会)

4・4 少数民族武装組織 10 団体、軍事クーデター反対、CDM、連邦民主憲章支援表明

和平ステアリングチーム (PPST) / 全ビルマ学生民主戦線 (ABSDF)、アラカン解放党 (ALP)、

チン民族戦線 (CNF)、民主カレン仏教徒軍 (DKBA)、カレン民族同盟 (KNU)、

カレン平和評議会 (KNU/KNLA-PC)、パオ民族独立機構 (PNLO)、

シャン州復興評議会・南シャン軍 (RCSS/SSA)、新モン州党 (NMSP)、ラフー族民主同盟 (LDU)

# National Unity Government of Myanmar

မြန်မာနိုင်ငံတော် အမျိုးသားညီညွတ်ရေး အစိုးရ



ဒုဝါလရှီးလ  
Duwa Lashi La



ဒေါ်အောင်ဆန်းစုကြည်  
Daw Aung San Suu Kyi



ဦးဝင်းမြင့်  
U Win Myint



မန်းဝင်းခိုင်သန်း  
Mahn Win Khaing Than

4・16 国民統一政府 (National Unity Government of Myanmar/NUG) 創設

(4・25 CRPH 支援協会・日本 SUPPORT CRPH-JAPAN 設立)

4・18 フリージャーナリスト北角裕樹逮捕 (虚偽のニュース拡散容疑)

5・5 国民防衛隊 (Myanmar People's Defense Force /PDF) 設立

5・14 フリージャーナリスト北角裕樹解放

8・1 ミンアウンライン国軍総司令官/2023 年 8 月まで総選挙実施発表

8・ビルマ共産党 (CPB) 再建/人民解放軍 (PLA) 再結成

2022 年 2・1 「沈黙のストライキ」 (クーデター 1 年)

3・27 国軍記念日式典/ミンアウンフライン総司令官

「罪のない人々を殺害するテロリストやその支持者との交渉は考えられず、全滅させる」



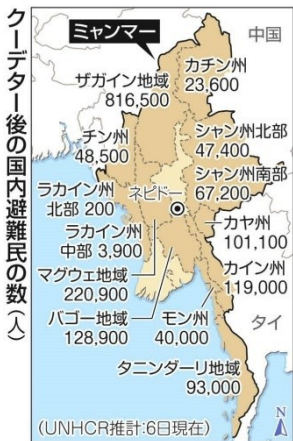
- 6・23 アウン・サン・スーチー刑務所に収監
- 7・25 アウン・サン・スーチー側近 4 人の死刑執行
- 8・28 軍、東ティモール臨時代理大使を国外追放/  
東ティモール政府は「ミャンマーに民主的な秩序を取り戻すためのあらゆる努力を支持することの重要性と、ミャンマー国民への連帯を表明する」声明

- 2023 年
- 1・11 軍、チン州少雨民族軍事キャンプ空爆
  - 2・1 「沈黙のストライキ」(クーデター2 年)
  - 3・28 連邦選挙管理委員会/国民民主連盟の資格失効発表
  - 4・11 ミャンマー軍、サガイン管区カンパル郡で大規模空爆
  - 7・31 ミャンマー国軍「非常事態宣言」6 ヶ月延長発表(4 回目)/総選挙 2024 年 2 月以降



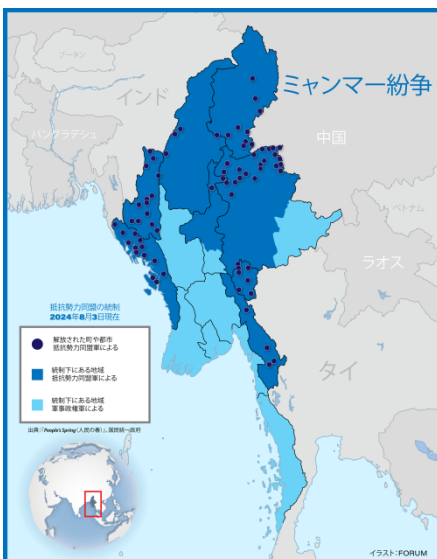
10・27 オペレーション 1027/民族武装組織一三同胞同盟によって実施されている進行中の合同軍事作戦。アラカン軍(AA)/ミャンマー民族民主同盟軍(MNDAA)/タアン民族解放軍(TNLA)

- 11・6 国連難民高等弁務官事務所/国内避難民ミャンマー全土約 171 万人
- 11・29 軍政内会議/ミン・アウン・フライン司令官「反乱軍との戦闘に重点を置く」
- 12・4 国家統治評議会/ミン・アウン・フライン司令官「もし武装勢力が戦闘を続けるのであれば、その地域の住民が苦しむことになる。こうした武装勢力は政治的に解決する必要がある」



2024 年 2・10 ミャンマー軍評議会「徴兵制」実施発表

- 7・ ミャンマー民主民族同盟軍・市民防衛隊合同軍、  
シャン州北部ランコー市の  
ミャンマー軍北東管区本部制圧(ミャンマー軍 14 管区の一つ)
- 7・31 ミャンマー国軍「非常事態宣言」6 ヶ月延長発表(6 回目)/  
総選挙 2024 年 2 月以降
- 12・ アタカン軍、ラカイン州アン郡区の  
ミャンマー軍西部軍拡区司令部の制圧



軍の  
支配地域は…



### 内戦で劣勢の軍

民主派勢力

「軍が支配しているのは国土の半分以下」

おとし10月

3つの少数民族武装勢力が一斉蜂起

• 民主派勢力も攻勢強める  
→ 軍が兵員不足に

去年 2月

軍が徴兵制導入を発表

→ 若者の大量出国招く

去年 8月・12月

2つの軍管区司令部が陥落

軍の国勢調査  
地区別実施状況  
Data for Myanmar (D4M)  
■ 全て実施  
■ 一部実施  
■ 実施できず

### 悪化する ミャンマー情勢

続く人権侵害

弾圧などで6,239人死亡

(先月末 政治犯支援協会まとめ)

28,444人を拘束

(うち21,722人は拘束中)

鉄の棒で殴るなどの拷問  
拘束中に1,853人死亡

(去年9月 国連人権高等弁務官事務所)

国民生活は  
危機的状況

✓ 国内避難民 320万人

✓ ヤンゴンで 1日16時間停電



少数民族武装勢力

連携して軍に対抗



民主派勢力

2025年1・31 ミャンマー国軍「非常事態宣言」6ヵ月延長発表(7回目)

3・8 ミャンマー政府、25年12月～26年1月総選挙実施発表